

「いちご王国・栃木」で いちご農家始めませんか

ミルキーベリー
まろやかな甘さの
いちご王国“初”白いちご

とちあいか
いちご王国の未来を創る
主力品種

とちおとめ
生食からスイーツにも適した
万能いちご

とちひめ
栃木県内でしか味わえない
幻のいちご



いちごちゃん
いちご王国の妖精



スカイベリー
大きい、美しい、美味しい
ミツ星いちご



いちごモンスター
いちご王国に魅せ
られた生き物

なつおとめ
断面がハート型の
夏採りいちご

～1968年から連続 生産量日本一!! あなたも生産者の仲間入りしませんか?～

栃木県で「いちご」栽培をお勧めする理由



栃木県は「いちご」の生産量が日本一で有力な産地

栃木県は、気候風土が「いちご」の生産に適しており、半世紀以上に渡り生産量日本一で、首都圏に近い立地を活かした有力な「いちご」の産地です。



栃木県の「いちご」の高いブランド力

県オリジナル品種「とちあいか」など栃木県の「いちご」はブランド力があり、有力な産地である強みを活かして十分な販路が確保されており、安定した農業経営が期待できます。



「いちご」で農業を始めるための充実したサポート体制

「いちご」の栽培技術を習得するための研修制度(県農業大学校、地域の研修機関)が充実しており、研修から就農するまでの準備は、県や市町、農業団体(JAグループ等)などから様々なサポートを受けることができます。

いちご栽培の魅力
詳しくはコチラ



[tochino]

事例紹介「農業経験ゼロから夫婦でいちご農家に!」

島野優一さん、実樹さん

鹿沼市出身。夫婦ともに会社勤めで農業経験がないところからいちご農家へ転身しました。夫の優一さんが社会人向けの「とちぎ農業未来塾(就農準備専門研修IIコース)」での座学と実習に加えて、いちご農家で1年間の研修を受け、妻の実樹さんも同じいちご農家でのアルバイトを経て、2021年に鹿沼市で就農。いちご16a、6棟のハウスと2棟の育苗ハウスで、農業経営を開始し、就農2年目に経営の黒字化を果たしました!

正月やクリスマスなど忙しい時期もありますが、休みも自由にとりやすく、前職より収入もあがりました。



営業・販売職から夫婦でいちご農家に
前職から収入増、2年目から黒字化実現

島野さんへのインタビュー
記事はコチラ



[tochino]

独立自営就農(新規参入)の経営モデル

いちご20a、所得目標500万円、家族構成3人(夫婦+子)の場合の経営モデルとなります。

栽培面積など

- ・品種は「とちあいか」(栃木県育成品種)
- ・パイプハウス20aの土耕栽培ウォーターカーテンによる保温
- ・労働力は夫婦2人。必要に応じて雇用を導入



栽培面積など

- ・栽培技術・経営管理手法は、県農業大学校(いちご学科や未来塾専門コース)や県が認める研修機関で習得する。
- ・研修期間中は就農準備資金※により年150万円の交付を受ける。

※一定の要件を満たした上で審査を受けます。

栽培面積など

- ・栽培用、育苗用ハウス等の用地として40aの農地を借りる。
- ・借地料は3万円/10aとし、井戸等を設置する。
- ・農地の近くに借家を借りる。



資金

- ・貯金300万円
- ・市町から認められた「認定新規就農者」になり、就農を支援する補助事業等の申請をする。
- ・経営開始後3年間は、経営開始資金※により年150万円の交付を受ける。
- ・初期投資費用3,870万円は、青年等就農資金※や補助金等※を活用する(p6参照)。なお、青年等就農資金の返済は2年間据え置きし、以後15年間で均等返済する。

※一定の要件を満たした上で審査を受けます。

就農5年目までの経営収支

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
10a当たり収量(kg)	4,500	5,000	6,000	6,500	7,000
収量(kg)	9,000	10,000	12,000	13,000	14,000
粗収益(万円)	1,125	1,250	1,500	1,625	1,750
経営開始資金(万円)	150	150	150	—	—
経営費※(万円)	623	698	1,046	1,101	1,156
所得(万円)	652	702	604	524	594

※経営費は、初期投資費用返済額を減価償却費相当として計算しています。なお、3年目から返済開始(2年間据え置き)として計算しています。

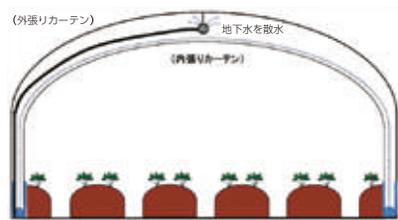
初期投資費用 20aの場合、設備投資と1年目の経費を合わせて約3,900万円がかかります。

①設備投資費用

品名		金額(万円)
栽培用パイプハウス7棟(かん水・ウォーターカーテン) 間口6m×奥行55m 内ハウス間口5.4m×53m	20a	1,410
育苗用パイプハウス1棟間口6m×奥行50m	3a	300
井戸の掘削(25m)、配管	一式	700
電気工事	一式	130
予冷库(1.5坪)	1台	70
出荷調整施設		150
軽トラック(中古)	1台	70
動力噴霧機	1台	50
うね立機	1台	28
炭酸ガス発生装置	7台	140
ラップ機	1台	150
収穫用コンテナ	100個	5
収穫用台車	3台	5
背負式動力噴霧機	1台	3
小農具(スコップ、レーキ、鋏、はかり、薬剤散布用タンク等)		4
硫黄くん蒸器	16台	32
合計		3,247



施設全景



ウォーターカーテンハウス



ハウス内

②1年目の経費

品名		金額(万円)
種苗費(定植苗の親株)	400本	8
肥料費		25
農薬費		65
修繕費		5
諸材料費(育苗培土、育苗トレイ、かん水チューブ、マルチ等)		90
賃借料(ミツバチ、トラクタ、借地料等)		50
動力光熱費		50
出荷資材費(10aあたり収量4.5tの場合)		100
運賃・手数料(10aあたり収量4.5tの場合)		200
共済掛金		30
合計		623

※令和6年1月現在の試算となります。

20a当たり経営収支

経営開始後5作目の所得目標 594万円

項目	10a当たり収量	5,000kg	6,000kg	7,000kg	8,000kg
収量(kg)		10,000	12,000	14,000	16,000
粗収益 ^{注1} (万円)		1,250	1,500	1,750	2,000
経営費(万円)		931	1,046	1,156	1,266
種苗費		8	8	8	8
肥料費		25	25	25	25
農薬費		65	65	65	65
修繕費		5	5	5	5
諸材料費		90	90	90	90
動力光熱費		50	50	50	50
賃借料		50	50	50	50
出荷資材費		110	130	150	170
運賃・手数料		220	260	300	340
共済掛金		30	30	30	30
支払労賃		45	100	150	200
初期投資費用返済 ^{注2}		233	233	233	233
所得 ^{注3} (万円)		319	454	594	734

作業名	時間
育苗管理	433
定植準備	157
定植	75
肥培管理	134
葉かき等	318
その他栽培管理	28
病害虫防除	59
収穫・調整	1,454
パック詰め	1,955
出荷	78
ハウス後片付け	93
合計	4,784

注1: 単価1,250円/kgで計算

注2: 減価償却費相当

初期投資費用(設備投資と1年目の経費)について活用した制度資金等3,495万円の返済は、2年間据え置き、以後15年間均等返済するものとした費用

注3: 夫婦2人分の所得

とちあいか平均収量

いちご栽培の一年

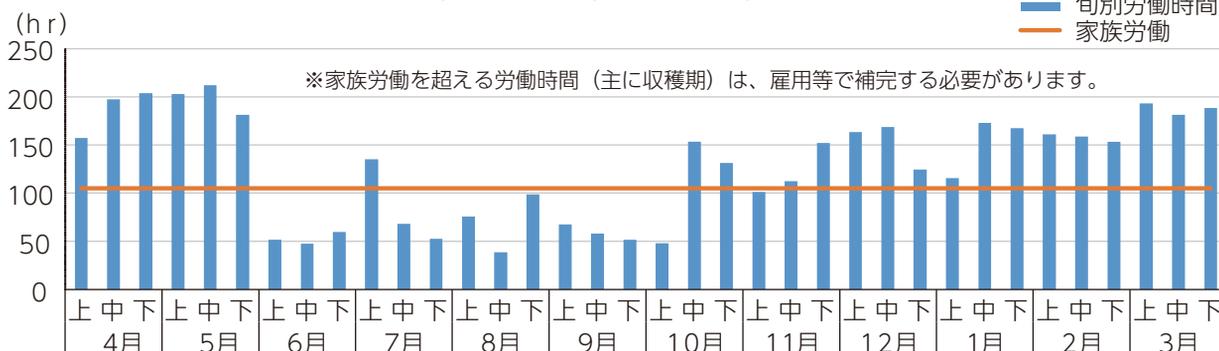
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
育苗ハウス	親株管理(増殖)		仮植準備	仮植	苗管理							親株定植
栽培用ハウス	収穫・調整・出荷			土壌消毒・定植準備		定植	保温準備		収穫・調整・出荷			
	かん水・換気					かん水・保温・換気						

※これら以外にも多数の作業があります。



【親株】 【仮植】 【苗管理】 【定植準備(うね立て)】 【定植】 【収穫】 【調整(パック詰め)】

20a当たりの旬別労働時間(年間計 4,784時間)



家族労働力2人(年間労働時間 2,000時間/人)

就農までのみちすじ

《就農のイメージを固める》

- 1 情報収集 (農業を始めるための情報や農業の基礎知識を収集しましょう!)
- 2 就農相談 (就農相談窓口にご相談してみましょう!)
- 3 農業体験 (農業体験イベント等に参加し、就農のイメージをつかもう!)



《本格的に就農準備を行う》

- 4 実践研修 (いちご農家になるための、栽培技術等を身につけましょう!)
- 5 計画づくり (農業を始めるにも事前の段取り、「計画」が重要です!)
- 6 農地や機械・施設、資金の準備 (農地を確保し、資金計画も明確にしましょう!)

《就農開始》

1 情報収集

まずは、とちぎ就農支援サイト「**tochino-トチノ-**」をチェック!



農業を始めるためのポイントや役立つ情報を発信しています!
先輩生産者の事例紹介は必見です!

先輩生産者のインタビュー記事
就農支援情報 (研修・農地等)
就農タイプ診断、イベント情報
オンライン相談予約 など

会員募集中!

お役立ち情報をメルマガでお届け!

2 就農相談

就農に関する幅広い相談を希望する方

就農の具体的なイメージが固まっていない方は、とちぎ農業経営・就農支援センターにご相談ください。就農に関する基礎知識や一般的な流れなどご案内しています。(平日 9:00~17:00)
とちぎ就農支援サイト「**tochino-トチノ-**」(上記サイト)より相談予約が可能です。

《ワンストップ相談窓口》

とちぎ農業経営・就農支援センター(事務局:公益財団法人 栃木県農業振興公社)
〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢2丁目2番13号 とちぎアグリプラザ内
TEL:028-648-9515 FAX:028-648-9517

具体的な就農イメージが固まっている方

就農予定地など、具体的なイメージが固まっている方は、栃木県内の各農業振興事務所(サテライト窓口)にご相談ください。就農支援情報の提供や研修制度の紹介、就農計画作成へのアドバイスなど、地域の実情に応じた相談や情報収集ができます。

河内農業振興事務所 経営普及部 (対応エリア:宇都宮市、上三川町)	宇都宮市竹林町1030-2 河内庁舎 TEL:028-626-3072
上都賀農業振興事務所 経営普及部 (対応エリア:鹿沼市、日光市)	鹿沼市今宮町1664-1 上都賀庁舎 TEL:0289-62-6125
芳賀農業振興事務所 経営普及部 (対応エリア:真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町)	真岡市荒町116-1 芳賀庁舎 TEL:0285-82-3074
下都賀農業振興事務所 経営普及部 (対応エリア:栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町)	栃木市神田町5-20 下都賀庁舎第2別館 TEL:0282-24-1101
塩谷南那須農業振興事務所 経営普及部 (対応エリア:矢板市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那珂川町)	矢板市鹿島町20-22 塩谷庁舎 TEL:0287-43-2318
那須農業振興事務所 経営普及部 (対応エリア:大田原市、那須塩原市、那須町)	大田原市本町2丁目2828-4 那須庁舎 TEL:0287-22-2826
安足農業振興事務所 経営普及部 (対応エリア:足利市、佐野市)	佐野市堀米町607 安足庁舎 TEL:0283-23-1431

また、新規就農者が抱える課題を総合的に支援する「就農サポートチーム」を地域ごとに設置しています。相談から就農まで、就農サポートチーム(県・市町・公社・JA等で構成)が支援します!



3 農業体験

就農の意思を固める前に、栃木県や各市町・JA等が開催する日帰り農業体験イベント等に参加し、農家の日常的な栽培管理を体験してみましょう。
また、先輩生産者の話(やりがいや苦労など)も聞いてみましょう。
イベントの開催情報は、とちぎ就農支援サイト「**tochino-トチノ-**」から探すことができます。



[tochino]
イベント情報



4 実践研修

本格的に就農を希望する方は、農業インターンで、より具体的な就農イメージをつかんでみましょう。



農業インターン

- ・対象: 県内の研修制度を活用し研修を予定している就農希望者
- ・体験スケジュール: 1体験当たり5日以上7日以内(原則1日8時間まで)
- ※体験者、体験受入先双方が合意した上で体験スケジュールを決定します。
- ・費用: 体験料及び傷害保険料は無料(旅費、宿泊費、食費等は体験者本人の負担)
- ・申込み: 体験希望者は、県農業公社又は農業振興事務所の担当者との面談を受けてください。



さらに、年間を通した研修(1年以上)を受けることで、栽培技術等を習得しましょう。



栃木県農業大学校

○いちご学科(就農準備資金に対応)

栃木県でいちご経営を始めたい方を対象に、学内及び生産現場での実習と経営管理に関する科目を主として、いちご経営に必要な基本的な知識、技術、技能を2年間(4~3月)で集中的に学びます。また、産地や関係機関と連携し、農地や施設の確保、就農準備などについても支援します。

○とちぎ農業未来塾

農業経営に必要な基礎的知識や作物の栽培技術などについて研修できます。

【就農準備基礎研修】

農業経営や栽培技術の基本的内容に関する講義、実習等

- ・研修機関 4~1月(30日)
- ・研修曜日 土曜日、又は木曜日

【就農準備専門研修】

Iコース 農業経営・栽培技術の専門的な内容に関する講義、実習、現地視察等

- ・研修機関 4~3月(100日)
- ・研修曜日 月・水・金曜日

IIコース(就農準備資金に対応) Iコースに加え、現地実習指導農業者等での現地実習を実施

- ・研修機関 4~3月(180日)
- ・研修曜日 月・水・金曜日 + 現地実習



地域の研修制度(市町・JA等が運営)

とちぎ農業マイスター等(指導農家)のもとでの栽培管理や農業機械・施設の取り扱いに関する研修や、研修用ハウスを割り当てての実践研修など、市町やJA等が運営する各地域独自の研修制度もあります。研修制度の情報は、とちぎ就農支援サイト「**tochino-トチノ-**」から探すことができます。

※就農準備資金の対象とならない研修制度もあるため、よく確認してください。



[tochino]
研修制度

雇用就農

「農業法人」とは、法人形態で農業を営んでいる会社などを指します。

- 安定した収入を得ながら、農業に携わりたい
 - まずは働いてみて農業の知識やスキルを身につけたい
 - 決められた時間で農業がしたい
- そんな方には、農業法人での雇用就農がおすすめです!



[tochino]
雇用就農



5 計画づくり

いつから、どこの農地で、どんな機械や施設を使い、どのような資金計画で農業を始めるのか、自分のやりたい農業について考えを整理することが大切です。農業経営ビジョンが明確になったら、今後の計画として「青年等就農計画」を作成しましょう。計画作成については、市町や農業振興事務所に相談することができます。「青年等就農計画」に市町長から認定を受けると「認定新規就農者」になることができます。



[tochino]
計画づくり



6 農地や機械・施設、資金の準備



農地・住まいの確保

計画づくりと併せて、市町や市町農業委員会に相談してみましょう。また、とちぎ農業マイスター等(指導農家)のもとで研修を受ける場合、農地探しのサポートを受けることができます。移住を伴う場合は、市町の空き家バンクなどを利用し、自分に合った住まいを探すことができます。県や市町の移住支援制度や補助金もチェックしてみましょう。



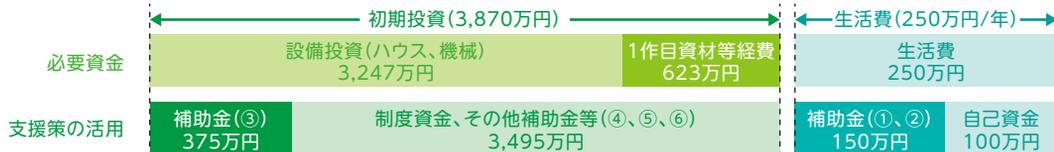
[tochino]
農地・住まい情報



資金の確保

いちご(20a)を始める場合、設備投資と1年目の経費を合わせて初期投資費約3,900万円がかかります。さらに、研修中から農業所得で暮らせるようになるまでの生活費を準備する必要があります。「認定新規就農者」になることで、就農当初を支援する補助事業や無利子の制度資金への申請が可能となります。

「いちご」就農1年目の必要資金と支援策活用の例 (とちあいか20a、家族構成3人(夫婦+子)の場合)



支援策を活用したうえで、300万円【生活費100万円×3年間(研修1年、就農開始後2年間)】は自己資金として最低限準備しておきたい。
※:生活費は、生活保護制度の最低生活費(厚生労働省)を用いた試算です。実際の生活費は個別の状況で判断が必要です。

＜新規就農の支援策(主な補助金等)＞

① 就農準備資金

- ・対象者 : 研修期間中の研修生(就農時49歳以下)
- ・支援額 : 定額(150万円/年、最長2年間)

② 経営開始資金

- ・対象者 : 認定新規就農者(就農時49歳以下)
- ・支援額 : 定額(150万円/年、最長3年間)

③ 経営発展支援事業

- ・対象者 : 認定新規就農者(就農時49歳以下)
- ・対象経費: 農業用機械・施設、家畜導入、果樹・茶改植、機械リース等
- ・補助率 : 国1/2、県1/4
- ・限度額 : 補助上限 750万円
- ※②の交付対象者は補助上限375万円

④ 青年等就農資金(制度資金)

- ・対象者 : 認定新規就農者
- ・融資条件: 借入限度額 3,700万円
貸付利率 無利子
償還期限 17年以内

⑤ 経営資源有効活用リフォーム支援事業

- ・対象者 : 認定新規就農者、施設移譲予定者等
- ・対象経費: 継承又は継承予定の農業用機械や施設等の経営資源の修繕
- ・補助率 : 1/2
- ・限度額 : 補助上限150万円
- ※ただし、畜産施設は500万円

⑥ 園芸大国とちぎフル加速総合対策事業

- ・対象者 : 農業協同組合、農業生産組織等
- ・対象経費: 栽培用ハウス及び附帯設備
- ・補助率 : 4/10

※一定の要件を満たした上で審査を受けます。
※事業内容等は変更となる可能性があります。
※その他、記載以外にも支援策があります。
※市町などによる支援策等については、「tochino-トチノ-」から探すことができます。



[tochino]
目的・エリア別
支援制度



7 就農開始 いちご農家としての第一歩が始まります。

